

# 社会から、お客様から、 そして社員から信頼される企業として。

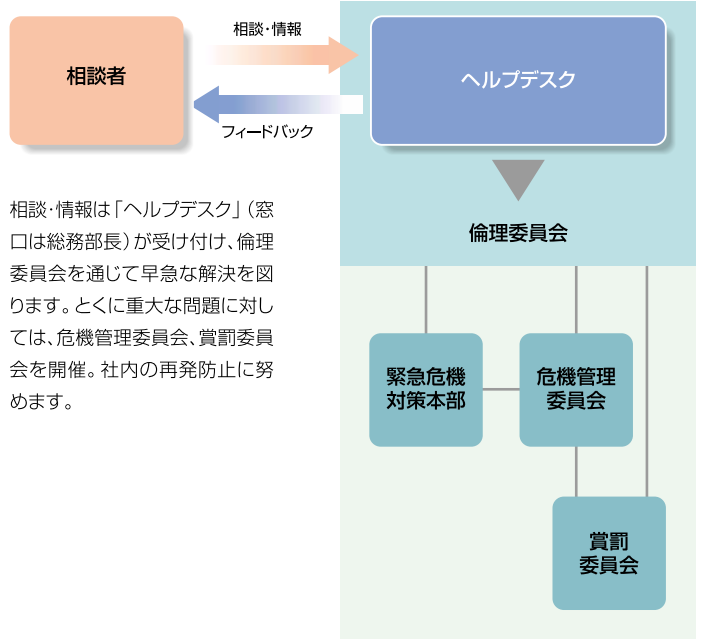
企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) が、国内でも海外でも重要視されるようになってきました。経済的な側面、環境的な側面、そして社会的側面において、企業は確かな責任を果たすことが求められているのです。シャチハタでは、環境に配慮されたモノづくりをベースに、社会から、お客様から、そして社員から信頼される企業活動を展開していきます。

## コンプライアンス

会社として、社員として、あるいは社会の一員として法令を遵守することは当然のことです。シャチハタでは、創業以来、お客様はじめ広く社会から信頼をいただける企業であることをめざし、積極的に法令遵守に努めてきました。さらに、「時代の求める新しい価値を創造し、生活文化の向上に貢献する」企業理念のもと、この伝統をより確かなものにするために、2003年度には、社内コンプライアンスシステムを構築。職場でのセクシャルハラスメントの防止、営業機密の管理、「下請代金支払遅延等防止法（下請法）」の遵守、反社会的団体への対応マニュアルの整備など、さまざまな施策を実行してきました。

また、社内コンプライアンスシステム構築の一環として、職場でのコンプライアンスの状況について社員が相談できる窓口「ヘルプデスク」を設置しました。ヘルプデスクでは、職場で発生したコンプライアンス上のさまざまな問題に対する相談・情報を受け付け、倫理委員会に報告。さらに倫理委員会を通じて問題を公正に調査、早急に解決し、再発防止策を検討・実施していきます。

### コンプライアンスシステム



相談・情報は「ヘルプデスク」（窓口は総務部長）が受け付け、倫理委員会を通じて早急な解決を図ります。とくに重大な問題に対しては、危機管理委員会、賞罰委員会を開催。社内の再発防止に努めます。

## お客様との関係づくり

文具店、印章店、量販店、通販店など、シャチハタのお取引先は全国約20,000店。札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡、全国7つの営業拠点をもとに、きめ細かなフォロー体制を敷き、販売店のよきアドバイザーとして、お店の販売促進を積極的に支援しています。

また商品をよりよいものにするために、ユーザーの声をはじめ、社会の声を聞き、企業活動に反映させています。

お客様相談件数・取引先問合せ件数

	2015年度
お客様相談（商品問合せ）	20,806
他社環境調査関係	16,807
計	37,613



## 労働安全衛生

シヤチハタは社員の労働安全衛生にも配慮しています。

特に機械類の多い製造工場においては、定期的な安全パトロールを行い、危険が潜んでいないか、不衛生になっていないかを光らせたり、地震対策として、棚・書庫の転倒防止を施したりと常日頃から安全第一を心がけています。

また、秋には製造工場の全従業員を対象に、火災予防訓練を実施、さらに各部署においては、災害時の液体漏洩などを想定した非常事態模擬訓練を定期的に行い、敷地内への配慮のみでなく、社員全員の環境保全に心がけています。

## 雇用の安定

安定した雇用の実現は企業の責務です。シヤチハタでは公平な人事制度のもと、雇用の安定をめざしています。

### 社員区分

	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度	
	定期採用	通年採用	定期採用	通年採用	定期採用	通年採用	定期採用	通年採用	定期採用	通年採用
パート	-	25	-	32	-	29	-	26	-	4
契約社員	-	23	-	14	-	19	-	21	-	3
社員	-	2	-	13	-	8	-	13	11	1

## 個人情報保護

シヤチハタでは、JIS規格に準拠した個人情報保護の取り組みの一環として、プライバシーマークを取得しています。お客様のプライバシーを保護することについて最大限の注意を払っており、その対策として、プライバシーポリシーとともに、個人情報保護マネジメントシステムを制定し、お客様に関する個人情報の定義・取り扱いなどについて定め、安心して個人情報を預けていただける管理体制の整備に努めています。また、個人情報保護の社員教育の一つとして、毎年、全社員（派遣社員、パート含む）に「個人情報保護チェックシート」の実施をしています。チェックシートの実施を通して、勉強すると同時に個人情報を取り扱う際の認識を再度確認しています。



### 労働災害件数

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
稲沢工場以外	1	1	4	1	3
稲沢工場	3	1	2	0	0
計	4	2	6	1	3



## 社会貢献活動（エコキャップ活動）

シヤチハタでは、2010年度よりペットボトルのキャップの収集を行うことでワクチンが寄付することができる、エコキャップ活動に協力しています。そのままキャップを焼却処分しますと、430個（1kg）につき3,150gのCO<sub>2</sub>が発生しますが、回収したキャップをプラスチック原材料としてリサイクルすることにより、キャップ860個でポリオワクチン1人分の購入ができます。2015年度は27,400個（ワクチン約32人分、CO<sub>2</sub>約201kgの抑制）のキャップを収集し、JCV（世界の子どもへワクチンを日本委員会）へ送付しました。今後もこの活動を継続していく予定です。